

渡辺仁史

小浜島で 建築家を育てる



think the future from hitoshi watanabe lab.

●島の子どもは目が輝いている

●NPO法人うみもりそらの活動の一環として、沖縄県八重山郡小浜島で、島の子ども達と一緒に「島の植物でドームを作ろう」というプログラムを実施しました。

●ホテル「はいむるぶし」の協力のもとに、小浜小学校の14名の児童と2名の中学生が参加してくれて、はいむるぶしのカンファレンスルームと敷地内のアダンの森広場で、正二十面体のドームの建設を行いました。

●この島でしかできないこと、八重山らしいテーマでプログラムを組み立てることが目標でしたが、ドームの骨組みとなる素材は「島の植物」と決め、はいむるぶしの敷地内で採取できる「①竹」と沖縄ならではの「②月桃」の二種類を使用することになりました。

●まず最初にレクチャーです。建築の面白さを体験してもらうために、できるだけ少ない材料で、できるだけ大きな空間を、安全に組み立てるのには、「三角形」を基本ユニットとすると効果的だということを、模型や映像を使って解説し、「みんなは未来の建築家になるんだよ」と、さりげなく宣伝も忘れずに、、、。

●さて、いよいよドームの組み立てです。ここからが面白いのですが、それはNPOのホームページにアルバムを載せますので、そちらをご覧ください。

<https://www.umimorisora.com/はいむるぶし写真集>



News Paper

第12号

2023.11.01

それは観察から始まった……人間行動と建築情報学



2023年10月8日 小浜島はいむるぶしカンファレンスルームでレクチャー